１００ばんめのサル（1986）

メディア 映画　アニメ
ジャンル ドラマ
製作国　日本
色彩　Color
時間　20分
初公開日 1986/05/25
公開情報 東京メディアコネクションズ

【解説】
　人間社会を猿の世界になぞらえながら、核軍拡と戦争の愚かしさを訴える短編劇場アニメ。日本の南の幸島。そこではいつもサルたちが、好物のサツマイモの奪い合いをしていた。ケンカの後のサツマイモは必ず砂の上に落ち、ジャリジャリして食べられない。だがある日、一匹のサルがイモを海に落としてしまう。海水で洗ったイモは塩味も利いておいしい。これ以降、若いサルたちは必ずイモを洗って食べるようになった。当初はこれを無視していたボスザルや老ザルもこれに続き、ついには島で最後の100匹目のサルも同じことを行なう。その時、海の向こうで不思議なことが……。原作はケン・キース・ジュニアの著作で、1986年の国際平和年記念作品。直接的に核の脅威を叫ぶのではなくきわめて寓意的に「固定観念の撤廃」「柔軟な思考」の大事さを通じて、人類が何をなすべきか語っている。ナレーターは吉永小百合が担当。

【クレジット】

演出	安斎一夫
プロデューサー	伊藤正昭
	宇田川東樹
構成	安斎一夫
原作	ケン・キース・ジュニア
脚本	櫻井正明
撮影	ティ・ニシムラ
	田村実
編集	鵜飼邦彦
音響監督	水本完
音楽	篁ゆき
ナレーター	吉永小百合

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.